

TOPIC 4  
大豆プリンと  
ミニスワッグ作りに挑戦

第3回ふるさと未来塾

今年度3回目となる「ふるさと未来塾」が社会福祉センターで開かれ、18人が参加しました。

この日は、町内農家「もりもりふぁーむ」の大豆を使った「大豆プリン作り」、午後からは花屋「フラワー愛夢」の菅野和美代表を講師にグレビレアやユーカリ、バラなど7種類のドライフラワーを使った「ミニスワッグ作り」に挑戦しました。對木亜香さん（6年）は「お花が好きなのでミニスワッグ作りが楽しかったです。玄関に飾りたい」と笑顔で話していました。



菅野代表（左）に教わりながらミニスワッグ作りに挑戦



「運転に不安を感じたら相談してください」と酒井課長

TOPIC 5  
交通安全と免許返納  
について考える

交通安全町民大会

交通安全町民大会が社会福祉センターで開かれ、町民110人が交通安全意識の向上に努めました。

釧路警察署交通第一課の酒井清二課長が「交通事故防止と運転免許自主返納」と題して講話。実際に起きた交通事故の映像などをモニターに映し、事故の原因や改善策を説明しました。酒井課長は「車や人が来るかもしれない『かもしれない運転』を心掛けてください」と呼び掛けました。また「運転が不安な方は免許返納について相談してください」と話していました。

TOPIC 6  
ぺったんぺったんお餅つき

白糠子ども園「もちつき会」

白糠子ども園で「もちつき会」が行われ、参加したぞう組（5歳児）の園児16人が餅つきを楽しみました。

園児は一人10回「いーち、にー、さーん」と数を数えながらきねで餅をつくと、周りの園児たちは「よいしょ、よいしょ」と掛け声をかけました。ついた餅は、園児が自身で丸めてお雑煮にして食べました。

餅をついたばかりの小西麗偉ちゃんは「おもちゃをぺったんぺったんするのが楽しかった。早く食べたいです」と笑顔で話していました。



「よいしょ、よいしょ」の掛け声の中、餅をつきました



今年で15周年の「白糠童謡・唱歌をうたう会」の皆さんも出演

TOPIC 1  
華麗な演奏を披露

白糠町青少年音楽祭

白糠町青少年音楽祭が社会福祉センターで開かれ、出演者が来場者約100人に華麗な演奏を披露しました。

音楽祭は、庶路学園音楽部の合唱で幕開け。続く白糠学園ブラスアンサンブル同好会は2曲を演奏。このほか、町内各校で情操教育をしている山田陽子さんのピアノ演奏や白糠吹奏楽団の演奏など、全9組が出演しました。来場した藤田良子さんは「皆さん素晴らしい演奏で楽しかったです。初めて手話の合唱を見たのですが、とても感動しました」と話していました。

TOPIC 2  
まちの未来のために  
児童生徒が考えを発表

明日の青少年を考える集い

明日の青少年を考える集いが社会福祉センターで開かれ、健全育成表彰やふるさと教育報告会が行われました。ふるさと教育報告会では、小学生から高校生まで7組が発表。このうち茶路中学生は「広大な土地を生かして、働き手を呼び込もう」と題して、町の人口減少を課題にあげ、養殖施設、干物工場、海洋ごみのリサイクル会社の3つを建てることを提案しました。

来場した池田文子さんは「どの生徒も町の将来のことを考えた素晴らしい発表でした」と話していました。



探究した成果を発表する児童生徒

TOPIC 3  
演歌歌手水田さんコンサート

しらぬか歌謡コンサート2022

生き活きしらぬかふれあい交流事業「しらぬか歌謡コンサート」が社会福祉センターで開催され、会場に集まった約150人がコンサートを楽しみました。

コンサートには、旭川市出身の水田竜子さんと浜の歌姫、喜多島麻鈴さんが出演。喜多島さんは新曲の「Heart&北海道♡」など11曲、水田さんは「そのわけは旭川」や「礼文水道」など10曲を披露しました。

演歌が大好きという池田榮津子さんは「間近で見ることができて感動しました」と興奮していました。



大ヒット曲「紅花の宿」などを歌う水田さん